

2020
秀作

第53回「おかねの作文」コンクール

「おかね」についての悩み

東京都・学習院女子中等科 3年 細井 茉凜

私には小さいころからお金についての悩みがありました。それは、「どれだけ安いものを買ったとしても後から『買わなくても良かったかもしれない』と思ってしまう」ということです。

一旦話が逸れてしまうのですが、私はこの夏大きな買い物をしました。自分用のノートパソコンを買ったのです。

新型コロナウイルスの影響で自宅で動画等を見て学習することが多くなり、自宅のパソコンを使用していたのですが、古いものだったので液晶画面が壊れてきてしまい、6月ごろに新しいものに買い替えました。そして古いものは私が貰うことにしたのですが、折角なら私も新しいものに買い替えようかと思っただけがきっかけです。

父と一緒に新しいものを家電量販店に見に行きました。私は元々機械をいじることが好きで、父が仕事柄パソコンの仕組みに詳しく、どのようなものがあるかなどじっくりと時間をかけて話し合いながらどれを買うのか決めました。買うことにしたのは今年の春モデルのもの。もちろん中学生の毎月のお小遣いから出せる金額ではありません。そこで私は、今までに貰い、一度も使ったことのないお年玉を使うことにしました。生まれてから14年間貯めてきたお年玉を全て使いました。1円も残っていません。

実はこの経験によって私の悩みが解決されました。何時間かけても良いから、じっくりと考えて買えばいくら高い買い物でも全く後悔はしないということに気が付いたのでした。

いくら安い買い物でも少しは後悔が残ってしまう私でしたが、今回は全くそんなことはありませんでした。この作文も新しく買ったパソコンで書いているのですが、前のものと違い重くなることもなくすらすらと動きます。また、前のパソコンには付いていなかったBluetooth機能が付いていたり、音楽を

聴くと音質が良くなったように感じたりします。課題に取り組んでいても画面が重くストレスに感じることもありません。後悔どころか買って良かったと感じています。

そこで今回の経験から、何か買うときはいくら安いものでもじっくり考えてから買ってみることにしてみました。

具体的には、夏休みの間、数百円の買い物でも本当に必要か本当に欲しいものか最低でも1日置いてから買うことにしました。新型コロナウイルスの影響で友人と遊びに行くことが無くなりお金が貯まっていきお財布の紐が緩ひもくなっていたので夏休み前半は趣味の本などを買ってしまい後悔することがあったのですが、これを実践してみると、同じ値段のものを買っても全く後悔しなくなりました。

もしかしたらこの方法を使えば後悔せずにどんな買い物もできるのではないかと思ったのですが、例外に気が付きました。例えばテーマパークに行こうと思ったとき。商品の詳しいラインナップや値段は当日行くまで分かりません。かといって何も買わないとなるとお土産も何も買えなくなってしまう。そのようなときはどうすれば良いのか、考えてみました。

正直に言うと、分かりませんでした。何があるのか、いくらするのかなどは事前に調べても一部の商品しか載っていませんし、実際お土産などで後悔したことは何度もあります。一つ考えられるのは「いくらまでに収める」と決めてから行く、ということです。ですがご飯の値段が意外と安かったりするとその分のお金も使ってしまうことがあるので難しいのではないかと思いました。これに関しては自分の経験がものを言うのではないかと思います。

こんなにお金の使い方に関して考えたのは初めてでした。でも物凄すごくためになったと思います。これからも、お金の使い方に気を付け、「いくら安いものでも1日程度考えてから買うようにする」ことに気を付けながら生活していこうと思いました。

